

中学校・国語

【 話すこと・聞くこと 】

<定着が見られる内容>

- 話の内容に注目して聞き、必要に応じて質問する力が身に付いている。
- 話の構成や展開等を注意して聞くことができる。

<課題が見られる内容>

- ◆質問の意図を捉えて応えることに課題がある。

指導改善のポイント

- ☆話し合いや意見交換の場を積極的に取り入れる。
- ☆体験や資料等を用いて、意見発表ができる授業内容を構成する。

【 書くこと 】

<定着が見られる内容>

- 段落相互の関係に注意し、読みやすく分かりやすい文章を書くことができる。
- 相手に的確に伝わるように、構成を考えて書くことができる。

<課題が見られる内容>

- ◆伝えたい内容が十分に表されているかを考え、推敲する力に課題がある。
- ◆得られた知識や情報を使い、説明する力に課題がある。

指導改善のポイント

- ☆文章を書く場面を多く設定する。
- ☆作文指導では、「誰に」「何を」「何のために」伝えるかを明確にするとともに、自他の文章を読み合うなど、その後の推敲も丁寧に行い、言葉への意識を高める指導を行う。

【 読むこと 】

<定着が見られる内容>

- 文章中の語句を理解し、文脈を捉えて読むことができる。
- 段落の役割や文章の展開を理解して、内容を把握することができる。

<課題が見られる内容>

- ◆場面の展開や登場人物の描写や言動の意味等に注意して読み、内容を理解する力に課題がある。

指導改善のポイント

☆心情を読み取る文学的文章や構成を意識した説明的文章等、文章に即した読み方の習得を図る。
☆読後の感想を交換し合い、作者のものの見方や考え方と比較しながら、自己の考えを深める指導を行う。

【 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 】

<定着が見られる内容>

- 語句の意味や文法の知識をもとに、文脈に即して漢字を正しく書いたり読んだりすることができる。
- 漢字を正しく読むことができる。
- 書道や古典に関する基礎的知識が身に付いている。

<課題が見られる内容>

- ◆文脈に沿って語句を適切に使う力に課題がある。
- ◆目的に応じて、文の構成やことわざを正しく理解して使うことに課題がある。

指導改善のポイント

☆文章を書く機会を多くするとともに、より多くの語彙を獲得するために国語辞典を絶えず活用し、豊かな表現力の涵養を図る。
☆様々な表現と出会うためのインタビューや、学校図書館を活用する学習形態を積極的に取り入れる。

今後に向けて

- ⇒地域や家庭への読書推進の啓発を積極的に行い、多様な語句や文章に触れる機会を増やす。
- ⇒国語の教科のみならず、全教科で計画的かつ段階的に言語活動に取り組ませる。特に、道徳や総合的な学習の時間等では、読み物や資料の教材化を図る。また、図書室を調べ学習等の学習活動の場所として積極的に利用させる。
- ⇒社会生活とつながる語彙力や表現力を培うという実践目標を立て、伝え合う活動にインタビュー等を取り入れる。

生徒が苦手とした問題

<国語B 説明的な文章を読む>

1 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

「宅配便が届いた段ボール箱は、天地無用だから、逆さまにしても大丈夫だ」

この言い方が気になるあなた、受け取った荷物は大丈夫でしょうか？

「天地無用」という言葉の意味について「国語に関する世論調査」で尋ねたところ、約3割の人が「上下を逆さまにしてよい」という意味だと回答しました。

では、「天地無用」とは本来どのような意味か、辞書で調べてみましょう。

〔広辞苑 第6版〕(平成20年・岩波書店)

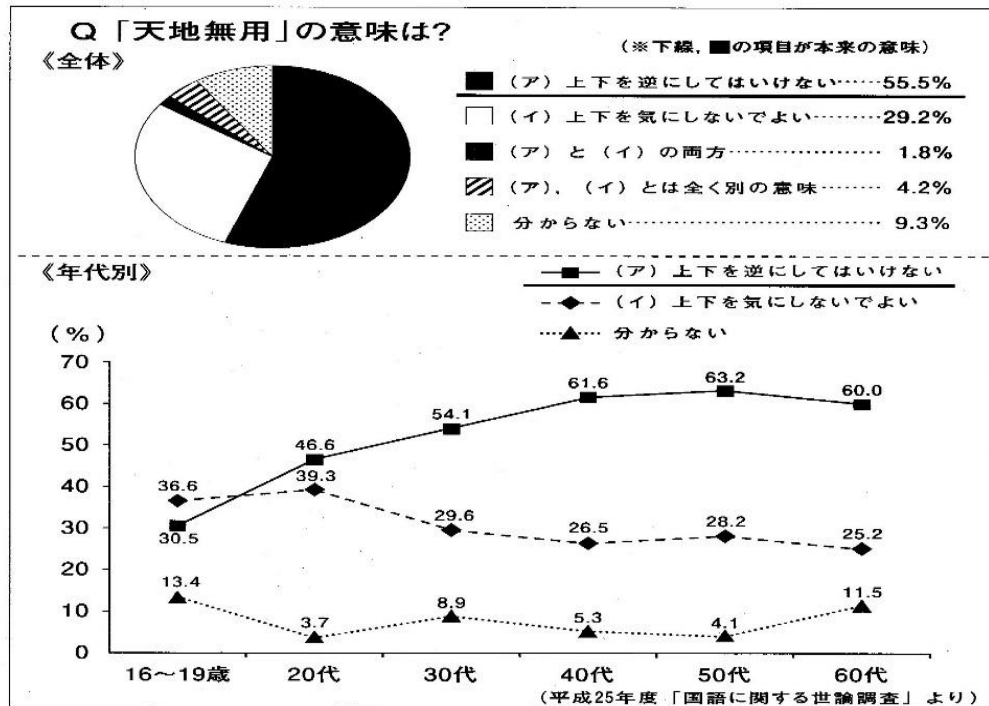
てんちーむよう 〔天地無用〕運送する荷物の外装などに記す語で、この荷物を取り扱うのに、上下を逆にしてはいけない、という意。

〔日本国語大辞典 第2版〕(平成12年・小学館)

てんちーむよう 〔天地無用〕荷物、貨物などの包装の外側に記す語で、破損の恐れがあるため上下を逆さまにして取り扱ってはいけない、という意味の注意。

「天地無用」は、「荷物の上下を逆にしてはいけない」という意味です。段ボール箱の荷物などに、赤地に白抜きで「天地無用」と書かれたシールが貼られていることがあります。しかし、それだけでは意味が分からない人が少なからずいるからでしょうか、最近では記号やイラストを用いて視覚に訴えたり、「UP」「この面を上」などといった情報を書き足したりして、より分かりやすくしようとする例が多くなっています。

【資料】



平成25年度の「国語に関する世論調査」で、「天地無用の荷物」という例文を挙げて、その意味を尋ねました。結果は次のとおりです。

全体では、本来の意味である(ア)

「上下を逆にしてはいけない」を選ん

だ人の割合(55.5%)が、本来の意

味ではない(イ)「上下を気にしない

でよい」を選んだ人の割合(29.2%)

を26ポイント上回っています。また、

「分からない」と回答した人が1割弱

となっています。

年齢別に見ると、16～19歳を除く全

の年代で(ア)の割合が高いものの、

最も低い60代でも25.2%の人が(イ)

を選んでおり、どの年代でも4人に1

人以上の割合で、本来とは逆の意味で

考えていることが読み取れます。

「天地無用」は、本来、誤解があっ

てはならない注意喚起の言葉ですか

ら、見過ごせない結果であるといえる

かもしれません。

では、「天地無用」を「上下を気にしないでよい」という意味で受け取る人が多いのは、どのような理由があるのでしょうか。その前提として、「無用」の意味を調べてみましょう。

『岩波国語辞典 第七版新版』(平成元年 岩波書店)

むよう【無用】①役に立たないこと。いらぬこと。「心配御し」②してはならないこと。「立入り」「天地」「上下を逆にしてはならない」という注意書③用事が無いこと。「一の者 入るべからず」

②の例にあるように「天地無用」の「無用」は「してはならないこと」という意味です。

かつて、アニメ番組「ドラえもん」の主題歌の中に「落書き無用」という言葉がありました。これは「落書きをしてはならない」という意味で、「天地無用」も同じ使い方です。

このように「無用」の用法は、かつては注意書きなどによく見られました。しかし、現在は「落書き禁止」「立入禁止」など、禁止という言葉をいれたり、もっと丁寧に「……しないでください」「……は御遠慮ください」などと書かれたりするようになっていきました。そのため、「無用」という言葉に「してはならないこと」という意味での使い方があること自体、分りにくくなっているかもしれません。

また、「無用」の意味が「してはならないこと」であると分かっていても、「天地してはならない」では、意味が通じません。「天地無用」は、「天地を逆にする」と「無用」のように、傍線部と近たる内容が省略された言い方になっているのです。字面だけを見ても、そのことは分かりませんが、本来の意味で読み取るのは難しいでしょう。

「落書き」や「立ち入り」とは違って、「天地」という言葉自体には「してはならない」というような内容がありません。逆にするという省略部分に気づかなければ、「無用」の意味は「役に立たないこと。いらぬこと」や「用事が無いこと」に取られかねないので

す。その結果、「天地はいらぬ」上下は気にしないでいい、「天地に用事はない」「天地は関係ない」などと解釈されることになりやすと考えられます。

「天地無用」という言葉は、いつも荷物を取り扱っている人や、意味を知っている人にはごく当たり前のものかもしれませんが、初めて目にした場合には解釈が難しい表現です。「国語に関する世論調査」でも、反対の意味だと考えている人と意味が分からないという人を合わせると4割近いという結果でした。

トラブルを避けるため、今後は分かりやすく言い換えたり、表示を工夫したりするなどの配慮が必要かもしれません。

(文化庁国語課「文化庁国語課の勘違いしやすい日本語」による。)

—【資料】の《年代別》の「◆(イ)上下を気にしないでよい」のグラフから分かることについて、文章中ではどのように説明されていますか。次の1から4までのうち、最も適切なものを一つ選びなさい。

- 1 — 線部①「本来の意味ではない(イ)上下を気にしないでよい」を選んだ人の割合(29・2%)
- 2 — 線部②「分からない」と回答した人が1割弱
- 3 — 線部③「どの年代でも4人に1人以上の割合で、本来とは逆の意味で考えている」
- 4 — 線部④「反対の意味だと考えている人と意味が分からないという人を合わせると4割近い」

